

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 食道癌周術期における補中益気湯（TJ-41）の有用性に関する前向き観察研究
	研究の対象 2019年1月～2023年3月に当院で食道がんの治療を受けられる方 170名
	研究の目的 食道がんの手術は侵襲が大きく、手術前の栄養状態や免疫機能が低下することで、手術後の合併症のリスクが高くなると考えられています。栄養状態や免疫力の改善には補中益気湯という漢方薬が有効である可能性があります。ただし、補中益気湯が、食道がん手術後合併症に有効であるかはまだまだ不明な点が多くあります。この研究では、補中益気湯を内服した患者さんのカルテデータから、食道がんの手術後合併症を予防に効果があるかどうかを明らかにすることを目的とします。
	研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2025年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、血液検査、合併症の発生状況 等
利用する者の範囲	機関名および責任者名 浜松医科大学 竹内裕也

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 外科学第二講座 竹内裕也</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 周術期等生活機能支援学講座</p> <p>担当者： 本家淳子</p> <p>TEL： 053-435-2427</p> <p>E-mail： honke@hama-med.ac.jp</p>